

第64回 千葉県理容競技大会
RIYO・ヘアーフェスティバル・CHIBA'22

大会要項

1. と き 令和4年5月9日(月) 選手受付時間 午前9時30分
2. と こ ろ 東洋理容美容専門学校(千葉市中央区春日二丁目18番6号)

3. 競 技 種 目

- 【第1部門】 **フェード・フリースタイル** (全国大会競技種目)
美しい色彩を主体とした、世界的なトレンドを感じさせる男性らしいフェードスタイル。
- 【第2部門】 **レディスカット・トレンドアクティブスタイル** (全国大会競技種目)
ヘアカラーを効果的に取り入れた、活動的な印象を与える実用性の高いレディススタイル。
- 【第3部門】 **ワールドヘア in Japan 2022「D`S」** (全国大会競技種目)
パーマ、カラーリングを効果的に取り入れ、D`Sが提案するダンディズム&セクシーな雰囲気を表現したヘアスタイル。
- 【第4部門】 **ブローカット(ウイック)** (県大会競技種目)
- 【第5部門】 **クラシカルバック・ボンバージュセット(ウイック)** (県大会競技種目)
伝統的なクラシカルカットによる美しい刈り上げとファッション性のあるフロントデザインやヘアカラーを調和させたヘアスタイル。
- 【第6部門】 **クラシカルバックバリエーションセット** (学生競技種目)
- 【第7部門】 **ロットワインディング(ウイック)** (学生競技種目)

4. 競 技 時 間

- | | | |
|--------|---------------------------|---------------|
| 【第1部門】 | フェード・フリースタイル | カット・スタイリング35分 |
| 【第2部門】 | レディスカット・トレンドアクティブスタイル | カット・スタイリング35分 |
| 【第3部門】 | ワールドヘア in Japan 2022「D`S」 | カット・スタイリング35分 |
| 【第4部門】 | ブローカット(ウイック) | 35分 |
| 【第5部門】 | クラシカルバック・ボンバージュセット(ウイック) | セットのみ25分 |
| 【第6部門】 | クラシカルバックバリエーションセット | セットのみ30分 |
| 【第7部門】 | ロットワインディング(ウイック) | 30分 |

5. モ デ ル

(1) 各部門とも下記に規定されたものとし、選手同伴とする。

- 【第1部門】 **フェード・フリースタイル**
- ① モデルはメンズマネキン(マネキンは国産メーカーのものに限る。品番等は自由)。
 - ② ヘアは総体的にブラント状が確認でき、2cm以上カットできるモデルであること(但し、刈り上げ部分の長さは1cm以上であること)。
 - ③ ヘアカラーは自由。
 - ④ マネキンの底以外に、氏名等を書き込まないこと。
 - ⑤ カット以外の事前処理は自由。
- 【第2部門】 **レディスカット・トレンドアクティブスタイル**
- ① モデルはレディスマネキン(マネキンは国産メーカーのものに限る。品番等は自由)。
 - ② ヘアは総体的にブラント状が確認でき、2cm以上カットできるモデルであること。
 - ③ 競技事項に定めるヘアカラーを施していること。
 - ④ マネキンの底以外に、氏名等を書き込まないこと。
 - ⑤ カット以外の事前処理は自由。

- 【第3部門】 **ワールドヘア in Japan 2022「D`S」**
- ① モデルはメンズマネキン(マネキンは国産メーカーのものに限る。品番等は自由)。
 - ② ヘアは総体的にブラント状が確認でき、2cm以上カットできるモデルであること。
 - ③ 「D`S」が提案するパーマが施されていること。
 - ④ 「D`S」が提案するヘアカラーが施されていること。
 - ⑤ カット以外の事前処理は自由。

- 【第4部門】 **ブロースカット(ウイック)**
- ① メンズウイックを使用。クランプを持参すること。
 - ② アイロン、パーマ等の形跡のない直毛であること。
 - ③ 髪の毛の長さは、フロント8cm以上、トップ6cm以上、裾周り3cm以上あること。

- 【第5部門】 **クラシカルバック・ボンバージュセット(ウイック)**
- ① メンズウイックを使用。クランプを持参すること。
 - ② カットを済ませておくこと。(審査でカットの美しさもみる)
 - ③ カット・カラー以外の事前処理及び薬液処理を行っていないこと。
 - ④ 自然に乾かした状態で、モデル審査を受けること。

- 【第6部門】 **クラシカルバックバリエーションセット**
- ① モデルウイック(メンズ)を使用。クランプを持参すること。
 - ② プレカット済みウイックを持参すること。

- 【第7部門】 **ロットワインディング(ウイック)**
- ① モデルウイックを使用。クランプを持参すること。
 - ② プレカット済みウイックを持参すること。

- (2) 競技出場前の所定の時間に集合し、モデル審査を受けるものとする。マネキン競技については、選手受付後、ゼッケン番号を貼付したマネキンを選手が競技会場に搬入し、モデル審査を受けるものとする。マネキン競技のモデル審査会場と競技会場が異なる場合、モデル審査終了後のマネキンは実行委員により競技会場に搬入される。
- (3) 頭部全体のいずれかの一部分(約2cm²)の毛髪2cmのカットをモデル審査委員により受けるものとする。
- (4) 洗髪後の乾燥した状態及び毛髪を十分に濡らした状態でモデル審査を受けるものとする。
- (5) マネキン設置後は、モデルと選手は接触できないものとする。
- (6) メイクチェックは選手が競技時間内に行うものとする。

6. 選手数 制限無。

7. 出場資格 千葉県理容生活衛生同業組合の組合員及びその従業員である理容師とする。
但し、第4部門、第5部門は、理容学校在学中のもの(通信生を含む)の出場を認める。
但し、第6部門、第7部門は、理容学校在学中のもの(通信生を含む)に限定する。

8. 出場制限 出場は1人1部門とする。
但し、第6部門あるいは第7部門の出場者については、第4部門か第5部門のいずれかひとつへの重複出場を認める。

9. 表彰 個人賞 各部門ごとに優勝、2位、3位、敢闘賞若干名を表彰する。

10. 出場申込 千葉県理容生活衛生同業組合所定の申込用紙に、必要事項を記入し、出場料を添えて申し込むこと。理容学生(通信生を含む)については在学期に申し込むこと。

11. 大会出場料	1～3部門	7,000円
	4～5部門	6,000円
	6～7部門	無料

12. 申込締切日 令和4年4月15日(金)(組合必着のこと)。
申込先 〒260-0033 千葉県千葉市中央区春日1-22-4
千葉県理容生活衛生同業組合 ☎043(242)5415

競 技 事 項

1. 競技種目に関する事項

【第1部門】

フェード・フリースタイル

(1) 競技規定

- ① カットは総体的に2cm以上行うこと。(但し、刈り上げ部分はその限りではない)
- ② モデルの骨格を考慮しバランスの良いフェードを施すこと。
- ③ サイド、バック下部にはトリマー(シェーバー、レザーも可)を使用しコントラストの強い美しいグラデーションを表現すること。
- ④ 仕上がりは、美しい色彩を主体とした、世界的なトレンドを感じさせる男性らしいフェードスタイルであること。
- ⑤ バリアート、レザーアートは施さないこと(但し、ハードパートは可)。
- ⑥ ヘアスタイルに合わせて衣装をコーディネートすること。
- ⑦ 競技中のスタンドクランプ等の使用は認めるが、競技終了時には必ずテーブルに固定のクランプにマネキンを着用すること(クランプは持参すること)。
- ⑧ マネキンにはボディーと衣装を着用すること。
- ⑨ マネキンのボディー、衣装の着用、仕上がり審査時の角度の調整等すべては、競技時間内に行うものとする。

(2) 競技時間

カット・スタイリング35分(但し、開始25分以内にスタイリングに入ってはならない)。

(3) 用具

自由。

(4) 整髪料

自由。

(5) 禁止事項

- ① 競技準備時間中及び競技終了後にモデルに触れること。
- ② ヘアアクセサリ、つけ毛等をモデルに装着すること。
- ③ カラースプレー、カラーパウダー及びそれに類似するものを使用すること。
- ④ 電気器具を複数台コンセントにつなぐこと。

【第2部門】

レディスカット・トレンドリアクティブスタイル

(1) 競技規定

- ① カットは総体的に2cm以上行うこと。
- ② 活動的な印象を与える実用性の高いヘアデザインと、モデルの個性にあわせた表現がされていること。
- ③ ヘアデザインを活かすハイトーンカラーを取り入れたヘアスタイルであること。
- ④ ダメージを感じさせない質感の表現をすること。
- ⑤ ヘアデザインに合わせてトータルコーディネートをする。
- ⑥ 競技中のスタンドクランプ等の使用は認めるが、競技終了時には必ずテーブルに固定のクランプにマネキンを着用すること(クランプは持参すること)。
- ⑦ マネキンにはボディーと衣装を着用すること。
- ⑧ マネキンのボディー、衣装の着用、仕上がり審査時の角度の調整等すべては、競技時間内に行うものとする。

(2) 競技時間

カット・スタイリング35分(但し、開始15分以内にスタイリングに入ってはならない)。

(3) 用具

自由。

(4) 整髪料

自由。

(5) 禁止事項

- ① 競技準備時間中及び競技終了後にモデルに触れること。
- ② ヘアアクセサリ、つけ毛等をモデルに装着すること。
- ③ カラースプレー、カラーパウダー及びそれに類似するものを使用すること。
- ④ 電気器具を複数台コンセントにつなぐこと。

【第3部門】

ワールドヘア in Japan 2022「D`S」

(1) 競技規定

- ① カットは総体的に2cm以上行うこと。
- ② 「D`S」が提案するダンディズム&セクシーが、モデルの個性に合わせて表現されていること。
- ③ 前下がりのスタイルでパートからの立ち上がりのアップバングが表現されていること。
- ④ Dセクション(下部)はフォーマルを意識した上品な長さでダンディズムが表現されていること。
- ⑤ Sセクション(上部)はレイヤーボブを生かしたセクシーなパーマが表現されていること。
- ⑥ 「D`S」のデザインを活かすヘアカラーが施されていること。
- ⑦ 「D`S」のコンセプトを取り入れたトータルコーディネートをする。
- ⑧ 競技中のスタンドクランプ等の使用は認めるが、競技終了時には必ずテーブルに固定のクランプにマネキンを着用すること(クランプは持参すること)。
- ⑨ マネキンにはボディーと衣装を着用すること。
- ⑩ マネキンのボディー、衣装の着用、仕上がり審査時の角度の調整等すべては、競技時間内に行うものとする。

(2) 競技時間

カット・スタイリング35分(但し、開始25分以内にスタイリングに入ってはならない)。

(3) 用具

自由。

(4) 整髪料

自由。

- (5) 禁止事項
- ① 競技準備時間中及び競技終了後にモデルに触れること。
 - ② ヘアアクセサリー、つけ毛等をモデルに装着すること。
 - ③ カラーズプレー、カラーパウダー及びそれに類似するものを使用すること。
 - ④ 電気器具を複数台コンセントにつなぐこと。

【第4部門】

ブローカット(ウィック)

(1) 髪型

- ① スタンダードなブローヘアとする。
- ② 正面・左右の均衡。
- ③ 襟元にボカシがあり、ブロー特有のシルエット及び、ネープ、ネックラインの美しさを表現する(但し、全体に2cm以上のカットを行うものとする)。

(2) 競技時間

カット・セット35分。

(3) 用具

自由。

(4) 整髪料

自由。

(5) 禁止事項

- ① 競技準備時間中及び競技終了後にモデルに触れること。
- ② フロンガス入りスプレーを使用すること(フロンガス以外は可)。
- ③ 競技中ウィックをクランプからはずすこと。
- ④ ヘアアクセサリーをモデルにつけること。

【第5部門】

クラシカルバック・ボンバージュセット セットのみ(ウィック)

(1) 髪型

- ① クラシカルカットの技術を活かし、伝統的なクラシカルバックのデザインであること。
- ② シルエットは、ラウンドスクエアであること。
- ③ ヘムラインのカットにおいては、ツーブロックではないこと。

(2) 競技時間

セットのみ25分。

(3) 用具

自由(アイロン類は不可)。

(4) 整髪料

自由。

(5) 禁止事項

- ① 競技準備時間中及び競技終了後にモデルの頭部に触れること。
- ② 競技時間内にカットをすること。
- ③ フロンガス入りスプレーを使用すること(フロンガス以外は可)。
- ④ ヘアアクセサリー等をモデルにつけること。

【第6部門】

クラシカルバックバリエーションセット

(1) 髪型

- ① 伝統的なクラシカルカットによるファッション性とデザイン性を備えたスタイルであること。
- ② フロントのデザインは自由とする。ただし、トップからバックのクラシカル部分につながりがあること。
- ③ 毛髪の長さはフロント部分を15cmまでとする。
- ④ カットは、事前に済ませておくこと。
- ④ ヘアカラーは自由で、事前に済ませておくこと。

(2) 競技時間

セットのみ30分。

(3) 用具

モデルウィック(メンズウィック)、クランプ等、クラシカルバックバリエーションセットに必要な用具を持参する。また、ダックカールクリップの使用は可とする。

(4) 整髪料

自由。

(5) 禁止事項

- ① 規定以外の用具の持ち込みは禁止する。
- ② ヘアカラー以外の薬液処理をしてはならない。
- ③ ヘアアイロン、ネットまたはパネル(材質問わず)状の用具を使用してはならない。
- ④ 衣装及びヘアアクセサリー・カラーズプレー・カラーパウダーを使用してはならない。
- ⑤ ドライヤーは1kwを超えて使用してはならない。
- ⑥ 競技終了の合図の後、作品に手を触れてはならない。

【第7部門】

ロットワインディング(ウィック)

(1) 髪型

- ① 指定の配列であること。
- ② 総体的にワインディングを行いロット60本以上使用すること。

(2) 競技時間

30分。

(3) 用具

プレカット済みのウィックを使用すること。
ペーパー(白)、ロット、輪ゴムを使用すること。種類は自由。

(4) 整髪料

不可。

(5) 禁止事項

- ① 競技準備時間中及び競技終了後にモデルの頭部に触れること。
- ② 総体的にワインディングしないもの。
- ③ ウィックに印のあるもの。
- ④ 水以外のものを使用すること。

2. 刈布・タオル、ウイック等の取扱い

各部門とも刈布、タオルの使用は自由。

3. 失格事項

次に掲げる項目に該当する場合は失格とする。

- (1) 所定の技術及び髪型に適合しない場合。
- (2) 競技時間を超過した場合。
- (3) 所定の用具、整髪料以外のものを使った場合。
- (4) 競技終了後、修正を行った場合。
- (5) モデル審査を受けていないモデルを使った場合。
- (6) モデルに傷を与えた場合。
- (7) 各部門競技の禁止事項を守らない場合(但し、適正な処置を施した場合は除く)。
- (8) 刈布、タオルをつけていない場合(マネキン競技を除く)。
- (9) 競技完了の表示を行わなかった場合。
- (10) 監視委員の指示に従わなかった場合。

4. 競技完了の表示

各部門ともすべて競技完了の表示は、モデルから刈布、タオルを完全にとりはずし、一步後方に退いた後、手を挙げて行うこと。刈布、タオルを使用しない場合は、一步後方に退いた後、手を挙げるのみでよい。

審 査 事 項

1. 審査委員

審査委員は11名とし、うち1名が委員長、1名が副委員長にあたり、それぞれ次により分担し審査業務を行うものとする。

- (1) 委員長 審査委員を代表し、審査全般を監理するとともに、審査表(モデル審査表を含む)をそれぞれとりまとめ、精算委員長に提出するほか、この審査事項に定める以外とくに必要とする事項について定め、これを行う。
- (2) 副委員長 審査委員長を補佐し、審査委員長に事故ある時はその職務を代理する。
- (3) 委員 審査事項に定められた業務を行う。
- (4) 分担 モデル審査担当4名。

2. 審査結果の発表

審査結果に関する発表は、すべて審査委員長がこれを行う。

3. 審査要項

〈審査の基準〉

【第1部門】 フェード・フリースタイル

- ① モデルの骨格に合ったバランスの良いフェードが施されているかをみる。
- ② サイド、バック下部にはトリマー(シェーバー、レザーも可)を使用したコントラストの強い美しいグラデーションが表現されているかをみる。
- ③ 仕上がりは、美しい色彩を主体とした、世界的なトレンドを感じさせる男性らしいフェードスタイルであるかをみる。
- ④ バリアート、レザーアートが施されていないかをみる。
- ⑤ ボディーと衣装が装着されているかをみる。
- ⑥ ヘアスタイルに合わせた衣装がコーディネートされているかをみる。

【第2部門】 レディスカット・トレンドアクティブスタイル

- ① 活動的な印象を与える実用性の高いヘアデザインと、モデルの個性にあわせた表現がされているかをみる。
- ② ヘアデザインを活かすハイトーンカラーを取り入れたヘアスタイルであるかをみる。
- ③ ダメージを感じさせない質感の表現がされているかをみる。
- ④ ボディーと衣装が装着されているかをみる。
- ⑤ ヘアデザインに合わせたトータルコーディネートがされているかをみる。

【第3部門】 ワールドヘア in Japan 2022「D`S」

- ① 「D`S」が提案するダンディズム&セクシーが、モデルの個性に合わせて表現されているかをみる。
- ② 前下がりのスタイルでパートからの立ち上がりのアップバングが表現されているかをみる。
- ③ Dセクション(下部)はフォーマルを意識した上品な長さでダンディズムが表現されているかをみる。
- ④ Sセクション(上部)はレイヤーボブを生かしたセクシーなパーマが表現されているかをみる。
- ⑤ 「D`S」のデザインを活かすヘアカラーが施されているかをみる。

- ⑥ ボディーと衣装が装着されているかをみる。
- ⑦ 「D'S」のコンセプトを取り入れたトータルコーディネートがされているかをみる。

【第4部門】 ブロースカット(ウイック)

- ① 正面、左右の均衡、カット技術をみる。
- ② ブロース特有のシルエットの美しさをみる。
- ③ ネープ、ネックラインの処理をみる。
- ④ 襟元のボカシの美しさをみる。

【第5部門】 クラシカルバック・ボンバージュセット セットのみ(ウイック)

- ① 伝統的なクラシカルバックスタイルで、ボンバージュセットの美しさをみる。
- ② 全体のカットの、美しさをみる。
- ③ ネックラインはシャープで、男性的かをみる。
- ④ 頭部下部に、バランスの取れたぼかしがあるかをみる。

【第6部門】 クラシカルバックバリエーションセット(ウイック競技学生部門)

- ① 伝統的なクラシカルカットによるファッション性とデザイン性を備えたスタイルであること。
- ② トータルの(スタイル・フロントデザイン・カラー等)に調和がとれていること。
- ③ フロントデザインとトップからバックのクラシカル部につながりがあること。

【第7部門】 ロットワインディング(ウイック競技学生部門)

- ① 規定のロット配列であるかをみる。
- ② 規定以上のロット本数であるかをみる。
- ③ 総体的に仕上がりの綺麗さをみる。

【モデル審査】

大会要項の5.モデルの項に記載されている事項に適合しているかどうかをみる。
モデル審査において疑義のあった場合は、選手入場後、アテンションカードにより競技エリア内で伝達する。

4. 審査時間

各部門とも参加人数により定めることとする(但し、モデル審査時間を除く)。

5. 審査委員打合せ

審査委員は指定された日の審査委員打合せに出席しなければならない。

6. 採点および審査の方法

- (1) 採点はすべて100点満点制とし、所定の審査表により行う。
- (2) 得点数が同じときは、審査委員長がその順位を決定する(委員長の採点は精算に加えないものとする)。
- (3) 仕上がり審査時のモデルについて、必ずテーブルに固定のクランプに装着し、審査を受けるものとする。

7. モデル減点

モデル審査はその公正を期するため、5点以内のモデル減点を行うことができるものとする。

8. 審査表の取扱い

- (1) 審査委員は各審査終了後、速やかに審査表(モデル審査表を含む)を審査委員長に提出するものとする。
- (2) 不完全な審査表があった場合、審査委員長はその審査委員の採点をその部門を通じて無効とする。
- (3) 審査委員長は審査終了後、速やかに審査表(モデル審査表を含む)を精算委員長に提出するものとする。

9. その他

タイム票の取扱いは次によるものとする。

- (1) 監視委員は、タイム係を兼任し、タイムをタイム票に記入し監視委員長に提出するものとする。
- (2) 監視委員長はタイム票をとりまとめ、審査委員長に提出するものとする。

監 視 事 項

1. 監視委員

監視委員は4名とし、うち1名が委員長、1名が副委員長にあたり、それぞれ次により分担し監視業務を行うものとする。

- (1) 委員長 監視委員を代表し、監視業務全般を監理するほか、この監視事項に定める以外とくに必要とする事項について定め、これを行う。
- (2) 副委員長 監視委員長を補佐し、監視委員長に事故あるときはその職務を代理する。
- (3) 委員 監視事項に定められた監視業務を行う。

2. 監視要項

- (1) 失格事項等について監視するものとする。
- (2) 監視委員は各競技終了後、速やかに監視表とタイム票を監視委員長に提出するものとする。
- (3) タイム係を兼任する。

3. 監視結果

監視結果について、監視委員長は必要に応じて、速やかに審査委員長に報告するものとする。

4. 監視委員打合せ

監視委員は指定された日の監視委員打合せに出席しなければならない。

精 算 事 項

1. 精算委員

精算委員は4名とし、うち1名が委員長、2名が計算担当委員、1名が記録担当委員にあたるものとし、それぞれ次により分担し、精算業務を行うものとする。

- (1) 委員長 精算業務全般を監理し、精算委員を代表するほか、この精算事項に定める以外とくに必要とする事項について定め、これを行う。
- (2) 計算担当委員 精算における計算業務を監理し、その責に任じる。
- (3) 記録担当委員 精算における記録業務を監理し、その責に任じる。

2. 精算要項

審査委員長より提出された審査表(モデル審査表を含む)をもとに、各選手の成績を精算するものとする。

3. 精算結果の報告

精算の結果は成績表にまとめ、精算委員長より審査委員長に報告するものとする。

選 手 の 留 意 事 項

- 1. 選手は大会の主旨をよく理解し、競技の勝敗にとらわれることなく、理容業の本質をわきまえ、消毒衛生の遂行並びに容姿、態度等に十分留意すること。
- 2. 理容業の消毒衛生に基づき、選手は競技中に用具を落とした場合、挙手をし、監視委員の指示に従うこと。
- 3. 選手は大会要項及び競技事項に定められた事項を順守すること。
- 4. 選手は競技事項にもとづく用具のほか、刈布、タオル、ウイック競技の場合はクランプを持参すること。
- 5. モデルは競技出場前の所定の時間に集合し、モデル審査を受けなければならない。
マネキン競技は、衣装を付けない状態でモデル審査を受けること。
- 6. モデル審査の結果に対し不服のある選手は、出場を取り消す場合がある。
- 7. 選手の椅子番号は大会当日、競技種目ごとに発表する。
- 8. 選手は清潔なユニフォームを着用すること。
- 9. 選手の使用するハンドドライヤーの熱量は1キロワットまでとする。
- 10. 選手の器具等の事故は、選手の責任とする。
- 11. 選手は大会当日の「表彰式」にユニフォームを着用し参加すること。
- 12. 選手は競技中に手首から指先に一切の付属品を付けないこと。但し、取り外すことが困難な場合、競技会場において監視委員に申告すること。
- 13. 器具は床の上に置かないこと。
- 14. 競技中に時計(タイマー)を使用する場合は、アラーム等、音を出さないこと。
- 15. 会場以外ではウイックは剥き出しで持ち歩かないこと。